

French Introductory French

(総科 ((総科 B)1 年))

Nobuhito Nagai · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 前期 火 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『フランス語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『フランス語 (1)』)

(ペア指定: Introductory French (総科 ((総科 B)1 年))Nagai / 前期 木 1・2
⇒ ??page)

Target) フランス語は、フランスの他、ベルギー、スイス、カナダ、カリブ海諸島、アフリカなど、世界の多くの地域で話されています。また、言語としてはスペイン語やイタリア語と近い関係にあります。この授業では、フランス語の総合的コミュニケーション能力の基礎を身につけることを目指します。半年間受講したあとは、簡単な読み書きや会話ができるようになっているはずです。新しいことばとの出会いは、視野を広げ、思考を豊かにしてくれるものです。授業で得た知識をもとにして、世界のさまざまな事柄について考え、また、さまざまな人びとや文化に出会ってほしいと思います。

Outline) 学習内容は、文法、読解、作文、会話のすべてにわたります。また、ことばだけでなく、ことばを話す人たちについても知ってもらうため、フランスやフランス語圏の社会や文化にもふれます。

Keyword) *language, French*

Relational Lecture) “**French/Introductory French**”(1.0)

Goal)

1. 自己紹介・買物・注文などに必要な基礎的会話ができる。
2. 平易な文章が読解できる。

Schedule)

1. 1-3 週: フランス語の紹介。共和国と政教分離。
2. 4-6 週: ヨーロッパの言語政策。否定文と疑問文。
3. 7-9 週: フランスの教育。関係代名詞と代名動詞。
4. 10-12 週: フランスの教育 (つづき)。比較級・最上級、部分冠詞。
5. 13-14 週: フランス人とヴァカンス。過去の表現。
6. 15-16 週: 期末試験・総括授業

Textbook) 大木充ほか『グラメール・アクティヴーヴー文法で複言語・複文化一』朝日出版社、2010 年、2,500 円+税、ISBN: 978-4-255-35210-7。

Reference) 仏和辞典を必ず購入し、授業に持参してください (どの出版社のものでも構いません)。

Evaluation Criteria) 平常点 (授業への取り組み、小テストの得点) と学期末試験の得点をもとに、総合的に評価します。

Re-evaluation) あり

Message) この授業は木曜 1・2 講時の授業とセットであり (ペアクラスと呼ばれる制度です)、どちらかの授業だけ受講することはできません。単位は各学期 2 単位ずつ認定されます。語学学習は、受講生の意識と努力が成果に直結しますから、積極的な態度で授業に臨んでください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220940>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Nagai (3116-2,) (Office Hour: 月曜の昼休み)

Note) 木曜 1・2 講時のフランス語入門とのペアクラスです。